

大腸ステント留置歴のある患者さんまたはご家族の方へ

臨床研究に対するご協力をお願い

愛媛県立中央病院では、上記の病気で受診された方の検体や診療情報(カルテ情報)を使用して臨床研究を実施いたしております。本研究に該当する可能性のある方のご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。

本研究への協力を望まれない場合、研究についての詳しい情報を希望される場合などは、その旨、以下の「問い合わせ先」までご連絡をお願いします。本研究への協力を望まれない旨のご連絡を頂いた場合は研究対象からは除外させて頂きますので、検体や診療情報は利用されず、また他の研究機関への提供も行いません。

【研究課題名】

当院における大腸ステント留置患者の臨床的特徴および予後予測因子に関する研究

【研究の目的】

本研究により、大腸ステントを留置された患者さんの原疾患、発生部位、手術前後の経過などを明らかにすることで、患者さんごとの適切な検査や治療の選択ができるようになり、不要な検査を減らし、また治療介入の遅れがないようにすることで医療費の削減や病状の安定に役立てる可能性があります。

【対象となる方】

当院にて大腸ステントを留置された患者さん。

【調査対象期間】

2012年4月1日～2028年3月31日

【使用する検体・診療情報】

カルテ情報：診断名、年齢、性別、身体所見、臨床症状、検査結果(血液検査、画像検査、CT検査、内視鏡検査、病理検査、手術記録)

【研究期間】 臨床研究審査委員会承認日から2028年9月31日

【個人情報の取扱い】

使用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は公表いたしません。

【研究責任者】

愛媛県立中央病院 消化器内科 部長 川村 智恵

【問い合わせ先】

松山市春日町 83 番地

愛媛県立中央病院 消化器内科 部長 川村 智恵

電話 089-947-1111 FAX 089-943-4136